

ぶらほの病院

111

～あたたかな医療をめざして～
諏訪中央病院 リレーコラム

電子処方箋という言葉を耳にしたことはあっても、実際にどんな仕組みで、どんなメリットがあるのか、よくわからない人も多いのではないか。多いのではないか。多いのではないか。

電子処方箋は、これまで紙で発行していた処方箋を電子化したもの。諏訪中央病院では2024年12月に電子処方箋の導入を行いました。今回は、電子処方箋のメリットや利用時の注意点を解説します。

●お薬の情報が正確に確認でき、安心・安全な医療が受けられる

ももせ きみひろ
百瀬 公博



百瀬 公博
(ももせ・きみひろ)

原村出身 薬剤師

2009年 諏訪中央

病院入職

2025年 日病薬病

院薬学認定薬剤師取得

今まで、患者さんが服用しているお薬の情報は、実際に処方・調剤した医療機関・薬局からでしか得られませんでした。しかし、電子処方箋に対応している医療機関・薬局では、患者さんの同意のもと、電子処

電子処方箋始まっています

お薬の飲み合わせや、同じ効果を持つお薬の重複投与などを容易に確認できます。また、引越しや転勤、旅行などいつもと違う地域の医療機関を受診した場合や災害時でも、電子処方箋を利用することで、これまでのお薬の情報を正確に確認できます。

●訪問医療サービスの負担軽減

訪問診療を利用した場合、紙の処方箋では病院に取りに行く必要がありました。

電子処方箋であれば、病院に処方箋を取りに行く必要が無くなります。さらにオンライン服薬指導やお薬の配達サービスなど組み合わせることで、自宅にいながらお薬を受け取ることも可能です。

●紛失リスクの軽減

方箋管理サービスに登録されたお薬の情報を共有できるため、他の医療機関・薬局のお

ようになります。これにより、電子処方箋は電子的に処方箋

電子処方箋は電子的に処方箋

電子処方箋を利用すると、従来の紙の処方箋が必要

の情報が登録されるので、紙の処方箋のように紛失することがありません。

●電子処方箋に対応している医療機関・薬局でなければ利用できません

電子処方箋はすべての医療機関・薬局で利用ができるわけではありません。対応している施設のみ利用ができます。かか

りつけの薬局が電子処方箋に対応していない場合、紙の処方箋が必要になるため、電子処方箋を利用する場合は事前に確認をしましょう。厚生労働省のウェブサイトでは電子処方箋に対応の医療機関・薬局が公開されています。

未だ、日本では電子処方箋の利用は少なく一般的ではありません。しかし、アメリカでは電子処方箋の普及率は90%以上と高く、医療の効率化、安全性の向上に寄与しています。そう遠くない未来に電子処方箋が当たり前の時代になると思います。

次回は1月11日掲載予定
(題字は鎌田實名譽院長)